

# ねっとわあく

270  
NOVEMBER



←藤森俊希さん（ヒバクシャ国際署名長野県推進連絡会代表世話人）



ヒバクシャ国際署名活動長野駅前にて 関連資料は2ページに掲載

## CONTENTS

- ヒバクシャ国際署名活動報告
  - ・ヒバクシャ国際署名長野県推進連絡会  
長野駅前署名活動…………… 2
- 令和元年台風19号災害報告…………… 2
- 研修会
  - ・信州まるごと健康チャレンジ学習会…………… 4
- 機関会議報告
  - ・第4回理事会…………… 5
- 部会等活動報告
  - ・第3回介護福祉部会…………… 5
  - ・第2回医療部会…………… 5
  - ・第1回食堂売店部会…………… 6
- 県消団連等活動報告
  - ・長野県くらし安全・消費生活課との懇談会… 6
  - ・第5回幹事会…………… 7
  - ・第6回幹事会…………… 7
- 協同組合間等活動報告
  - ・信州まるごと健康チャレンジ2020  
第5回実行委員会…………… 7
- お知らせ
  - ・「第50回長野県消費者大会」…………… 8
- INFORMATION…………… 8

# ヒバクシャ国際署名活動報告

## ■世界50カ国の批准により「核兵器禁止条約」が来年1月発効へ

ヒバクシャ国際署名長野県推進連絡会は、11月3日、長野駅前前で条約の発効を報告し、日本政府を含めさらに批准国を広げようとアピールと署名活動を行いました。

日本被団協事務局次長・長野県原爆被害者の会会長の藤森俊希さんは、「核兵器で無差別に人々の命が奪われることを絶対に許してはいけない、唯一の戦争被爆国である日本が率先して核兵器のない世界に前進させるべき」と強調しました。

自ら署名をする中高生の姿が目立ちました。長野県においては、県知事をはじめ、77市町村長全員が呼びかけに応じてこの署名に賛同しています。この署名は年内いっぱいといったん終了します。長野県生協連は、この連絡会の一員として、この署名の終了後も連携を広げ、核兵器廃絶に向けた取り組みを継続します。



## ■ヒバクシャ国際署名は2020年末まで集約を継続します

「ヒバクシャ国際署名」は9月18日の最終集約で、長野県では26万7713筆集まりました。これまでのみなさんの粘り強い取り組みとご協力に心より感謝申し上げます。ヒバクシャ国際署名中央連絡会では、署名活動を2020年末まで延長することになりました。各団体・個人でお手元に署名がありましたらご提出をお願いいたします。

(長野県生活協同組合連合会まで)



# 令和元年台風19号災害(令和元年東日本台風)報告

令和元年(2019年)の台風19号は、千曲川流域を中心とした河川の氾濫や土砂災害等が起きてから1年が経ちました。災害による被害を受けられた皆様に心よりお見舞い申し上げます。また、多くの皆様や団体からの支援をいただき、深く感謝申し上げます。



## 長野県被害状況

○人的・住家被害等(2020年9月18日現在/長野県第6回暮らし・生業再建本部会議報告から掲載)

- ・人的被害 死者15名(内災害関連死10名) 行方不明0名 重傷者14名 軽症者136名
- ・住家被害 全壊920棟 半壊2,515棟 一部損壊3,535棟 床上浸水2棟 床下浸水1,360棟
- ・災害による被害総額 276,674百万円

# 令和元年台風19号災害(令和元年東日本台風)報告

## ○応急的な住まいの提供・住宅の応急修理の状況(2020年9月1日現在)

区分	入居戸数		公営住宅等※1		応急仮設住宅※2		計	応急修理※3		
	県営	市町村営	借上型	建設型	申込	依頼		完了		
長野市	39	41	484	76	640	1,158	1,099	1,020		
長野市以外	8	30	48	—	86	633	606	549		
計	47	71	532	76	726	1,791	1,705	1,569		
提供戸数累計	92	155	646	91	984	完成割合		87.6%		

※1原則1年間(自宅など再建工事未完了者及び災害公営住宅入居者は最長1年間延長可)

※2最大2年間 ※3日常生活に必要な部分の修理

## ○見守り活動等、健康障害防止対策などの取り組み状況

- 被災者の孤立防止のための見守り、住民交流活動、日常生活上の相談支援を被災地や被災者訪問を継続して実施。

## ○ボランティア、NPO等の活動

- 災害ボランティアは全国から延べ72,989人。長野市内では6月6日以降、公費解体に伴う家財搬出などのボランティア活動が再開され、6/6～8/31に延べ131名が活動しました。現在は登録制で被災者からのニーズがあれば、長野市ボランティアセンターで対応しています。
- 長野県災害時支援ネットワークと県が協力して、長野県NPOセンターを運営主体として、“ONE NAGANO基金”を立ち上げ、県も基金の原資として1,000万円を拠出。基金の助成実績は第1次助成で32件(972万円)、第2次助成で17件(360万円)。



ボランティアなどの助けで畑がよみがえり、立派なりんごが実りました

## 「災害アーカイブ展」を長野県内各地で開催します。

<https://www.pref.nagano.lg.jp/bosai/happyou/1005press.html>

## 台風19号災害から一年

台風19号の豪雨災害から1年がたちました。多くの皆さまから激励と支援をいただきましたことに改めて御礼申し上げます。

おかげさまで復旧の取り組みが進んでいます。しかし、コロナ禍の影響は復旧と支援活動に大ブレーキとなり、ボランティアの受け入れは現在も専門性のある支援団体に絞っています。

コロナ禍にあっての支援は、オンラインでの相談やニーズの聞き取り、マスクの準備など過去にない作業が必要となるため、従来よりも多くの人手あるいはより合理的な運営が求められています。また、被災地の自治会や自主防災組織を応援する体制も必要です。

長野県生協連はこうした社会的な困難状況の早期の解消に「連携」こそが重要と考え、多くの市民・団体や企業・行政とともにネットワークを形成し、良好なコミュニケーションがとれる環境づくりに貢献することを目指しています。今回の長野での経験と教訓を、これまでの被災地での貴重な経験と教訓に上乗せして、さらなる前進に少しでも貢献したいと考えます。皆さまには引き続きご指導をいただきますようお願いいたします。

長野県生活協同組合連合会 専務理事 関 佳之

## 信州まるごと健康チャレンジ学習会が開催されました

2020年9月14日（月）、JA長野県ビル12階B会議室及びオンラインでのライブ配信にて、信州まるごと健康チャレンジ学習会を開催し、オンライン参加者を含めて149名（実参加者22名、オンライン参加者127名）の参加がありました。長野県協同組合連絡会で秋に計画している「信州まるごと健康チャレンジ2020」のキックオフ学習会として開催しました。

最初の講演は、利根保健生活協同組合・利根歯科診療所の中澤桂一郎所長より「楽しみながらオーラルフレイル予防で健康寿命を延ばそう～人は口からダメになる、しかし人は口から再生する～」と題して、お話いただきました。最初に「みなさんは歯医者さんが好きですか？」との問いかけから始まりました。誰もが幼少のころに「あまり好きになれない場所」として歯科医院を記憶するが、これからの健康長寿の基本は「歯科治療」や「歯科検診」が非常に大切になります。肺炎の発症率もインフルエンザの発症率も、口腔ケアをしている人はしていない人と比べて大きく発症率に差が生まれます。またかかりつけ歯科医師の居る人は、かかりつけ歯科医師がいない人と比べて生存率に大きな差が生まれます。年に2回、3回と定期的に歯科検診を受けることがどれほど大切なことかを具体的な事例や数値を示してお話いただきました。また、具体的な方法として“あいうべ体操”やロングピロピロなど日常生活の中で誰でも気軽にできることを紹介いただき、明日からの実践に役立つヒントをたくさんいただきました。

後半には松本大学人間健康学部スポーツ健康学科の田邊愛子准教授より「信州まるごと健康チャレンジ2019の成果と効果的な運動実践方法」と題してご講演いただき、その後松本大学の田邊ゼミの竹原征也さん、齋藤佑紀さんを講師に運動教室を開催いただきました。まず、田邊先生からは2018年と2019年のそれぞれ健康チャレンジに参加された2000名以上のデータの集計と比較分析の結果を丁寧にご紹介いただきました。参加者数では県内の4地域での差があるが、いずれの地域でも男性参加者の2～3倍女性の参加者が多い。今後パンフレットの配布や参加呼びかけの工夫も必要と考えられる。参加者の64%が「効果があった」と前向きな評価をしており、「来年も参加したい」は全体の94%が、健康チャレンジの60日間終了後も「継続したい」は全体の95%が回答。多くの方の日常的な健康づくりのきっかけになっていると考えられるとのことでした。



中澤桂一郎所長



田邊愛子准教授



※中澤先生の講演のユーチューブ動画

URL : <https://youtu.be/pA8MbalM4M8>



## 第4回理事会を開催しました（WEB）

日時：10月22日（火）10時30分～11時40分

開催形式：WEB会議システム開催

出席：10名（理事9名：監事1名）

内容：議事に先立ち理事会参加者全員が一堂に会するのと同等に十分な意見交換ができることを相互に確認し、以下の案件についてWEB会議システムを用いて審議を行い、承認されました

- (1) 上期のまとめと下期課題について
- (2) 新規加入希望生協の照会への対処に関する件
- (3) JCA（日本協同組合連携機構）への加入に関する件
- (4) 地域共生信州「緊急就労支援事業」の協賛金に関する件
- (5) 県政要請事項（県労福協）に関する件
- (6) 県議会各会派との懇談会に関する件

## 部会等活動報告

### 第3回介護福祉部会を開催しました（WEB）

日時：9月18日（金） 14時00分～15時40分

開催形式：WEB会議システム開催

出席：7名（長野医療生協、コープながの高齢者生協、生活クラブ生協、県生協連）

内容：会議に先立ち参加者全員が一堂に会するのと同等に十分な意見交換できることを相互に確認しました。

丸橋部会長が挨拶し議事を進行しました。

- (1) 2020年度第2回介護福祉部会報告を事務局が報告し、確認した。
- (2) 2020年度活動計画について
  - ① オンラインでの学習交流会企画について  
対象：通所サービス事業所の管理者を対象  
テーマ：事業所紹介、制度・運営・加算など自由に交流  
開催時期：11月の平日。13時～15時
  - ② 長野市との懇談会について  
テーマとしては「新型コロナ禍（または災害時）での福祉事業者の相互連携や今後の障がい者や要介護者・高齢者に優しい長野市を目指して、生協ができること、期待されることなどの意見交換」や「今後の介護人材の確保の課題」「介護保険サービス制度について」などを想定して考えていることを長野市にお伝えすることとしました。
  - ③ リハビリ職員の研修・支援について  
現場の状況や意見を聞きながら日程調整をして進めることとしました。
- (3) 会員交流：各会員生協より資料の提供があり、報告をいただき交流した。

### 第2回医療福祉部会を開催しました（WEB）

日時：10月3日（金） 14時00分～15時00分

開催形式：WEB会議システム開催

出席：5名（長野医療生協、東信医療生協、上伊那医療生協、県生協連）

内容：会議に先立ち参加者全員が一堂に会するのと同等に十分な意見交換できることを相互に確認しました。

根本部会長が挨拶し議事を進行しました

- (1) 2020年度第1回部会、第3回介護福祉部会、第5回信州まるごと健康チャレンジ2020実行委員会、健康チャレンジ学習会報告
- (2) 2020年度活動報告  
県外視察（中止）に代わる研修会についても今年度は中止
- (3) 活動交流

## 第1回食堂売店部会を開催しました（WEB）

日時：10月27日（火） 14時00分～15時40分

開催形式：WEB会議システム開催

出席：10名（セイコーエプソン生協、長野日本無線生協、双葉生協、信州大学生協、県庁生協、日本生協連、県生協連）

内容：会議に先立ち参加者全員が一堂に会するのと同様に十分な意見交換できることを相互に確認し、出席者が自己紹介を行い、議事に入りました。

(1) 2019年度第2回食堂・売店部会報告（2019年度のまとめと2020年度方針）

(2) 日生協職域事務局からの報告

10月の第2回運営委員会報告や現在コーププラザで実施中の無人売店システムの紹介がありました。今後無人売店システムの実証実験の結果もご紹介いただけることとなりました。

(3) 2020年度食堂・売店部会の活動計画について

① 部会の開催

部会は年間2回、コロナ禍での食堂・売店経営の交流を中心に行うこととしました。

② 食育ランチの取組

2020年度の食育ランチの取り組みは、コロナ禍で学生がキャンパスに戻っていないことも含めて、現在開催できる状況にないため、中止とすることとしました。

③ 研修会は部会の中で希望を聞きながら考えることとしました。

(4) 会員交流

各会員生協よりコロナ禍での各店舗の状況や対策や工夫などを具体的に交流しました。

## 県消団連活動報告

### 長野県くらし安全・消費生活課と懇談会が開催されました

長野県消団連は、9月1日（火）に長野県庁議会棟4階403号室（長野市）において、2020年6月に実施した県内77市町村対象の第12回消費者行政アンケートの集計結果について、長野県くらし安全・消費生活課との懇談会を実施しました。県からは村井昌久課長、瀧澤修一企画官、北條浩之課長補佐が、消団連からは鶴飼照喜会長を含め5名が出席しました。

今回の懇談会はアンケートの結果を受けて、長野県行政の考え方や今後の市町村行政への支援やサポートについての意見交換を目的に開催されました。懇談の主な内容は以下の通りです。



#### ◆県内市町村における誰もが気軽に消費生活相談ができる環境整備について

アンケート結果からは「消費生活センター」の設置状況や、市町村の相談窓口の整備状況や相談対応についての集計結果を元に県行政の考えを聞きました。県内のどこに住んでいても身近な相談窓口が設置され、相談ができる環境整備の重要性について確認し、県行政としても市町村とともに環境整備に力を入れていく事を確認しました。

#### ◆消費生活センターの設置予定の状況と県の支援について

小規模な町村が「消費生活センター」の設置を検討していく際に、近隣の市との広域連携による設置が想定されます。長野県としては県内市町村の協議検討状況に寄り添いつつ、必要な支援を進めていくことを確認しました。

#### ◆消費生活相談員や有資格者の確保、資格取得への支援策について

毎年県が実施している資格取得の講座を今年度は通信教育方式にしたことにより、参加者が昨年の22名から65名に大幅に増加した。コロナ禍での苦肉の策が功を奏した形となった。今後もより多くの希望者が受講しやすい方法を考え、相談員の資格取得や有資格者確保に努力をしていくとの報告がありました。また、同時に相談員を対象としたレベルアップの研修会の実施回数を増やすなど市町村の相談業務への支援を充実していく考えをお聞きしました。

#### ◆上記のテーマ以外にも、「地域福祉との連携の推進について」、「消費生活サポーターの今後の養成について」、「消費者教育の推進」、「消費者行政と消費者団体の連携」などのテーマでも懇談をし、意見交換を行いました。

◇県消団連はこれからも、行政や地域福祉関係者とのコミュニケーションの機会を大切にし、協働し連携しながら誰もが安心して暮らせる地域づくりに貢献していく立場であることを伝え、また、長野県消費生活基本計画の推進に協力していくことを確認して、懇談会を終了しました。

## 第5回幹事会を開催しました

日時：9月7日（月）10時00分～12時00分  
 場所：長野県婦人会館 1階会議室（長野市）  
 出席：10名（幹事・監事8名、事務局2名）  
 内容：事務局が以下の事項を提案し、協議を行い承認されました



- (1) 第50回消費者大会について  
 県の定めるルールに沿って実参加とyoutube配信の併用で開催することとし、緊急事態宣言などにより実開催に制限がかかった場合は中止もありうることを確認しました。
- (2) 2020年度市町村消費者御製窓口と消費者団体・消費生活サポーター及び市域福祉関係者との懇談会開催計画の変更について  
 懇談会は中止することとし、今年度はくらし安全・消費生活課との懇談会を開催し、その結果も含めて、市町村消費者行政調査結果まとめを各市町村の消費者行政担当者へ送付することとしました。
- (3) 2020年度（令和2年度）の長野県消費者団体連絡協議会の会費納入について  
 全員一致で承認されました。

## 第6回幹事会を開催しました

日時：10月5日（月） 10時30分～11時45分  
 場所：長野県婦人会館 1階会議室（長野市）  
 出席：12名（幹事・監事10名、事務局2名）  
 内容：鶴飼会長が議長を務め、議事を進行しました。



- 1.事務局が以下の事項を提案し、協議を行い承認されました。
  - (1) 第50回長野県消費者大会の開催計画について
    - ・当日の受付対応では、アルコール消毒・検温・報告者用のマウスシールドを準備することとしました。
    - ・アンケートは当日回収を基本とし、オンライン参加者にもアンケートを依頼することとしました。
    - ・オンライン視聴及び大会後の視聴については、必要なフォローを事務局が行うこととしました。
  - (2) 県民文化部表彰の推薦について  
 自薦・他薦を問わず、推薦があれば、後日事務局へ連絡することとしました。

## 協同組合間等活動報告

### 第5回信州まるごと健康チャレンジ2020実行委員会が開催されました（WEB）

日時：8月31日（月） 14時00分～15時00分  
 開催形式：WEB会議システム開催  
 出席：11名（JA中央会、JA厚生連長野、JA長野健保組合、コープながの、長野労金、長野医療生協、東信医療生協、労協ながの、ワーカーズコープ信州、県生協連）  
 内容：会議に先立ち参加者全員が一堂に会するのと同様に十分な意見交換できることを相互に確認しました。

県生協連の関専務が挨拶し議事を進行しました。

- (1) 前回議事録の確認について
- (2) キックオフ学習会の実施計画について
- (3) 健康チャレンジパンフレット配布状況
- (4) まとめ学習会（結果報告と運動実践方法など）について  
 今後の新型コロナウィルス感染症の拡大状況も読めないことから、過去に行った各地域での開催ではなくて、全県統一の学習会として開催する方向で検討していくことを確認しました。

お知らせ

# 第50回長野県消費者大会

オンライン開催  
参加費 無料

主催：長野県消費者団体連絡協議会 後援：長野県・長野市・長野市教育委員会

★大会テーマ

## 「ウィズコロナ」と新しい絆(きずな)づくり

～コロナ禍の中、私たちの社会に大きな変化が起きています。この大会では、今身近にあるくらしの困難な状況の解消に取り組む団体の活動とその目指すものを共有し、私たちの課題を探ります。～

日時／令和2年11月27日(金) 13:30～15:30

開催形式／オンライン (YouTube) にてライブ配信を行います。

内容／報告①：フードバンクと食の安心・循環のネットワークづくり

【フードバンク信州 副理事長 美谷島越子さん】

報告②：緊急就労支援事業でつくるあんしん未来

【長野県社会福祉協議会(まいさぼ) 山崎博之さん】

報告③：コロナ禍、地域医療の現場から

【長野医療生活協同組合 理事 山本佳道さん】

報告④：シトラスリボン運動の取り組みについて

【NPO法人健康サポートまごの手 代表 斉藤恵理子さん】

### 当日のスケジュール

- 13時30分 開会と挨拶
- 13時40分～15時20分 報告①～④
- 15時20分～まとめと閉会挨拶
- 15時30分 閉会



### 【お申込み方法】

★e-mailにて長野県消団連<entry@nccu-coop.org>までお申し込みください。

★e-mail本文に①団体名、②お名前、③e-mailアドレス、④電話番号をご記入ください。

★ご提供いただく個人情報、学習会の連絡等にもみ使用させていただきます。

右のQRコードからwebにアクセスしお申込みいただけます。➡



【申し込み締切】 ★11月24日(火)

\*11/26(木)にYouTubeの視聴用URLと資料をe-mailにて送信します。

## 長野県消費者団体連絡協議会

〒388-8006 長野市篠ノ井御幣川668 コープながの本部内

TEL 026-261-1380 FAX 026-261-1381 Eメール kcoop@janis.or.jp

## Information

長野県生協連 2020年11月～12月 活動予定

月 日	会議・活動内容など
11月10日(火)	第6回常任理事会
11月12日(木)	第2回協同組合連絡会幹事会、 第6回信州まるごと健康チャレンジ実行委員会
11月16日(月)	第7回消団連幹事会
11月18日(水)	労福協実務者会議
11月24日(火)	地連運営委員会
11月27日(木)	第50回長野県消費者大会
11月30日(月)	労福協共同編集会議

月 日	会議・活動内容など
12月1日(火)	災害時通信訓練(MCA無線)
12月3日(木)	県民文化部長との懇談会
12月5日(土)	監事研修会
12月8日(火)	第7回常任理事会、第5回理事会
12月10日(木)	県議会各派懇談会
12月11日(金)	地連都県連災害担当者交流会(WEB)
12月15日(火)	第4回介護福祉部会
12月18日(金)	労福協理事会

会報 ねっとわあくNo.270

発行：長野県生活協同組合連合会 〒388-8006 長野県長野市篠ノ井御幣川668番地 生活協同組合コープながの本部内

TEL.026-261-1380 FAX.026-261-1381

ホームページ <http://nagano-seikyoren.org/index.php>

